

令和2年度 入試過去問題

彫刻専攻

自己推薦特別入試

第1次選考：書類審査

出願時に提出された自己アピール資料による能力判定及び書類審査により選考。

試験科目 自己アピール資料審査

評価基準

想像力と造形力を総合的に判断する。

【自己アピール資料の内容】

A (活動記録・作品)

これまでの自主的な活動記録や作品を自由にまとめてください。

(サイズ：A3サイズで提出枚数は自由)

B (表現又は提案)

「大地」をテーマに自由に発想し表現してください。

- ・立体作品として制作してください。
- ・提出は、3方向から写した写真によることとし、それぞれA4サイズとします。
- ・作品に関するコメントを400字以内で記し、添付してください。

第2次選考

試験科目 小論文

評価基準

論理的な思考力と文章表現力をみる。

試験問題：目の前の彫刻は本学名誉教授の山本豊市先生（故人：開学時の教授）の作品「愛」です。これから10分間この彫刻を鑑賞した後に試験室に戻り、ここで作者が何を表現したかったか、その意図を推察し、配付された回答紙に1200文字以内で記して下さい。鑑賞の際に、配付されたメモ用紙にメモを取り、筆記の参考にしても構いません。尚、試験問題とメモ用紙は試験終了時に回収します。

注意事項

辞書類の使用は不可。鉛筆（シャープペンシル）を使用。



出題の意図：対象を見て感じたことや考えたことを論理的にまとめ、文章で表現できるかを問う。

試験科目 面接

評価基準

立体造形制作への意欲・資質を見る。

内 容：第1次選考試験・自己アピール資料を参考に試問

令和2年度 合格者（入学者）作品

彫刻専攻

一般入試

試験科目 **素描**

- ・木炭又は鉛筆、併用も可
- ・試験用紙(木炭紙、画用紙)を配付時に選択

評価基準

基礎的な描写力と表現力をみる。

モチーフ：アリアス

配付物：木炭紙又はM画用紙

問題文：台の上の石膏像を素描しなさい。





試験科目 塑造

評価基準

立体造形力と感性をみる。

モチーフ：自分の手・リンゴ

配付物：粘土(15 kg)、塑造板、心棒用木材、ベニヤ板(粘土硬さ調整用)、
針金(8番,10番)、しゅろ縄(太,細)、塑造道具等

問題文：「喜び」をテーマに自分の手とリンゴの両方をモチーフとし、自由に塑造しなさい。





